相ノ木っ子だより

令和３年度
４月号
上市町立
相ノ木小学校

変わるものと変えてはならないもの

「おはようございます」

新年度を迎えてから１週間。昨年度の相ノ木っ子だより４月号で書いた「子供たちと早くハイタッチしたい」というわたしの願いは、まだまだ叶いそうもありませんが、１年生を加えた１３３名の子供たちと毎朝元気にあいさつを交わしています。進級への期待とともに抱く不安、先生方の異動の多さによるものなのでしょうか、子供たちはまだ幾分緊張気味ではありますが、相変わらず明るく、楽しく過ごしています。そんな姿を見ていますと、相ノ木小のよさ、相ノ木っ子のよさをこのままずっと続けていきたいものだとつくづく思います。

とは言え、わたしも本校校長４年目となりました。保護者、地域の方から「またあの校長さんか」「いつ変わんがんかいの？」なんて声が聞こえてきそうです。その年その年で、相ノ木小学校、相ノ木っ子のよりよい成長を願い、目標を設定し、先生方、子供たちに呼びかけてきました。ですが、これだけ長くなりますと、自分自身の慣れ、周りへの影響・浸透の低下等、俗に言うマンネリということが気になってきます。やはり変化や新風は必要であり、人をリフレッシュさせますし、新たな発想を生み出します。教育現場においても、昨年度は新学習指導要領実施、今年度はGIGAスクール構想による一人一台端末の整備や「令和の日本型学校教育」の構築等、時代や社会の変化への対応が求められています。これまでとは違ったアプローチで子供たちの学びを支えていく必要性があります。

しかし、環境や手法が変わっても、実現を目指す個別最適な学びと協働的な学びは、これまでも重視してきたことですし、教育における不易なものです。つまり、変わるものと変えてはならないものが存在しており、どのように組み合わせ、子供たちと学びをつくり上げていくかが大事だと捉えています。そう考えると、校長としてのわたしも、この相ノ木っ子だよりをこれまで通り心のままに書き綴り、これまで同様に子供たちの心の醸成を大切にしながら、新たな視点、工夫できることを探し、果敢にチャレンジしていくべきなのでしょう。

天才物理学者のアインシュタイン博士は次の言葉を残しています。

間違いを犯さなかった人とは、新しいことに挑戦しなかった人のこと

自分の根幹を支え、変えてはならないと判断するものは、自信をもって継続していくべきですが、その安定さに甘えてはいけないのですね。常に新たな自分、よりよい自分へとチャレンジしていくことが大事なのでしょう。教育の本質たる信念をもった力強い気持ちといろいろなことを取り入れていこうとする新鮮な気持ちを合わせもって、子供たちと令和３年度のスタートを切りたいと思います。なお、今年度の教職員は下記のようになっております。教職員一人一人が個性を出し、従来のよさと新しいアイディアを融合させ、一致団結して学校運営に取り組んで参ります。１年間ご支援とご協力をよろしくお願いします。

＜今年度の教職員＞

校　　長	和田　英俊	教　　頭	田近　雅美	教務主任	高野由香子
１年生担任	西村　哲也	２年生担任	浦本小百合	３年生担任	大橋　篤志
４年生担任	渡辺　大貴	あすなろ級担任	杉山　千鶴	５年生担任	加藤　奈緒
つばめ級担任	寺井　敏光	６年生担任	山林　久恭	通級指導教室	成瀬あさ子
養護教諭	大橋裕里佳	副主幹	田中　　守	英語専科	長田　　希
理科専科	渡邉可奈子	外国語指導助手	山田真由美	ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ	永田　　悟
ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	板東由美子	ｽｸｰﾙｻﾎﾟｰﾄｽﾀｯﾌ	林　　茂之	業務士(調理)	吉田　雅子
助手(調理)	上田　英子	助手(調理)	山本　亜美	助手(用務)	澤田　　修
業務士(用務)	種田　晴美				

「自分にこだわる」にこだわってみよう！

「『自分にこだわる』ということを目指してほしい」

子供たちのじっと見つめる目力が、どんどん強さを増している。第１学期始業式で、わたしの話を聞いている子供たちの様子から、そう感じました。どの子も、体育座りの姿勢を崩すことなく、背筋を伸ばしてわたしの方をしっかりと見据えて話を聞いています。以前から感じていましたが、前年度修了式、そして始業式と、なかなかに素晴らしい聞く態度なのです。そんなしーんとした空気の中、今年度の目標として、冒頭の言葉を子供たちに投げかけました。

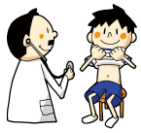
この３年間子供たちに働きかけ、保護者の方にもお知らせしてきた「自分三部作」。「自分を大切にする」(H30)、「自分の心をみがく」(R1)、「自分を表現する」(R2)と、毎年バージョンアップし、積み重ねてきました。もちろん、毎年度子供たちの実態や成長、また課題を捉え、目標を提案してきました。ある程度は先を見越しながら目標を設定してきたつもりですが、正直なところ「自分三部作」で完結という思いが多少あったので、今回は少々困りました。「自分」を継続しつつ、全く別の視点から目標を設定した方がよいのだろうかとも考えましたが、やはり相ノ木っ子たちには、これまで積み重ねてきた「自分」というものを見つめていくことが大事であり、自分という存在の確立を目指していくべきだと思いました。そしてたどり着いたのが「自分にこだわる」でした。

自分のやり方、自分なりの解決方法、自分と相手との相違等、自分らしさの追求にこだわってほしいと願っています。これまで大切にし、育んできた自分の思いや考え、言動、心をフルに使いながら、自分らしさをつくり上げていってほしいです。そうすれば、誰からも流されない自分を確立していくことができ、自己有用感を味わいながら真の自立を目指す相ノ木っ子たちになっていくことでしょう。学校では、そんな育ちを目指して授業実践を積み重ねていきたいと考えます。ぜひお家でも、こだわる力を身に付けさせていくようご協力をお願いします。本音を引き出し聞いてあげることで「思いを語れる子に」。家庭での体験を増やし任せることで「学びを生かせる子に」。自分のルールづくりを励まし見守ることで「計画と実践を積み上げられる子に」。学校と家庭での協働によって、相ノ木っ子たちの自分らしさをみがいていきましょう。

小説家、詩人である武者小路実篤の詩を紹介します。

自分は一個の人間でありたい。
誰にも利用されない　誰にも頭を下げない
一個の人間でありたい。
他人を利用したり　他人を歪にしたりしない
そのかわり自分も歪にされない
一個の人間でありたい。

いろいろな人との関わりの中でわたしたちは生きています。でも、自分は自分であり、誰に影響されることなく、自分の道を自分らしく歩んでいくべきなのです。相ノ木っ子のみんな、自分らしさを自分らしく見つけていきましょう。

行事予定（4月中旬～5月中旬）

４月１６日（金）	学習参観・ＰＴＡ総会	
	学級懇談会	
１９日（月）	研修会のため下校 14:30	
２０日（火）	歯科検診　英語教室(3・4 年)	
２１日（水）	尿検査	
２７日（火）	家庭訪問１日目　下校 13:00	
２８日（水）	家庭訪問２日目　下校 13:00	
２９日（木）	(祝)昭和の日	
５月　３日（月）	(祝)憲法記念日	
４日（火）	(祝)みどりの日	
５日（水）	(祝)こどもの日	
１２日（水）	町児童陸上記録会(5・6 年)	
１３日（木）	内科検診(1～3 年)